

2020年12月

当社運営スキー場のゲレンデ滑走用具滑走可否基準について

(札幌国際スキー場・札幌市藤野野外スポーツ交流施設)

ゲレンデ滑走用具滑走可否基準

①エッジ付滑走用具であること。

※エッジがないと滑走中において確実な操作性、減速が行えない。

②立ち乗り操作であること。

※座って乗るタイプ(しゃがみこむ)では、スピードの制御を失った時、他人・建築物に衝突する危険が増す。立ち乗りであれば転倒する事により停止ができる。サドルタイプは可。椅子タイプは不可(チェアスキー可・バイスキーは介助者同行で可)

③流れ止めがついていること。

※転倒時等における滑走用具がリリースされた際、滑走用具のみで停止する事ができる。

④スピード及びコントロール操作が適正に行えること。

※滑走スピードにおいてエッジの長さが適正でなければ、適正操作ができない。

⑤原動機及び駆動装置が付いていないこと。

※ゲレンデは上部からの滑走となる為、逆走ができると衝突につながる。

《滑走可能用具》

- スキー、スノーボード、スノースクート、スノーモト、ポールボード、
- チェアスキー、バイスキー(コーチ・介助者が同行で可)

リフト乗車：スキー等の滑走具の装着が必要である。